

# 避難のポイント

危険を感じた場合は、市からの避難情報を待たずに避難しましょう。

- 外出が危険なときは、**家の2階**などの少しでも安全な場所に移動する。



- 夜間の避難は危険**。可能な限り明るいうちに避難する。



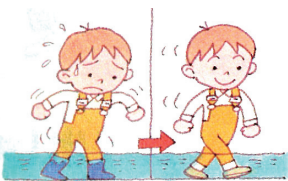
- いざという時、居場所を知らせるために、笛(ホイッスル)を持っておく。



- 非常持ち出し品は必要最低限**にとどめ、背負って**両手が自由に動かせる**ようにする。



- 運動靴を履いて避難する**。長靴は水が入って歩きにくく危険。はだしは厳禁。



- 道路冠水時は、側溝、水路、マンホール(ふたが外れている)が分かりにくく危険。ふだん通っている道でも**真ん中を慎重に歩く**。



- 流水や冠水の中で**歩ける浸水はひざぐらい**(男性は70cm、女性は50cm程度)が目安。それ以上なら無理をせず、高いところで救助を待つ。



- 古くなった橋などは渡らないようにする。



- 垂れ下がった電線に触れない、近寄らない。



- 田んぼや畑、河川の見回りは避ける。



- 先導者は、くぼみや溝を確かめるために、長い棒をつえにしながら歩く。



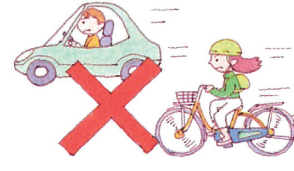
- 必ず**2人以上で避難する**。道路冠水時は、ロープでつないで避難する。



- 避難前に、ガスの元栓やブレーカーを切り、**火の始末や戸締まり**をする。



- 原則として**徒歩で避難する**。特に地震時では道路が被害を受け危険。



- 隣近所に声をかけ、**集団で避難する**。病人や歩行困難な人を背負うなどして地域で助け合う。

